

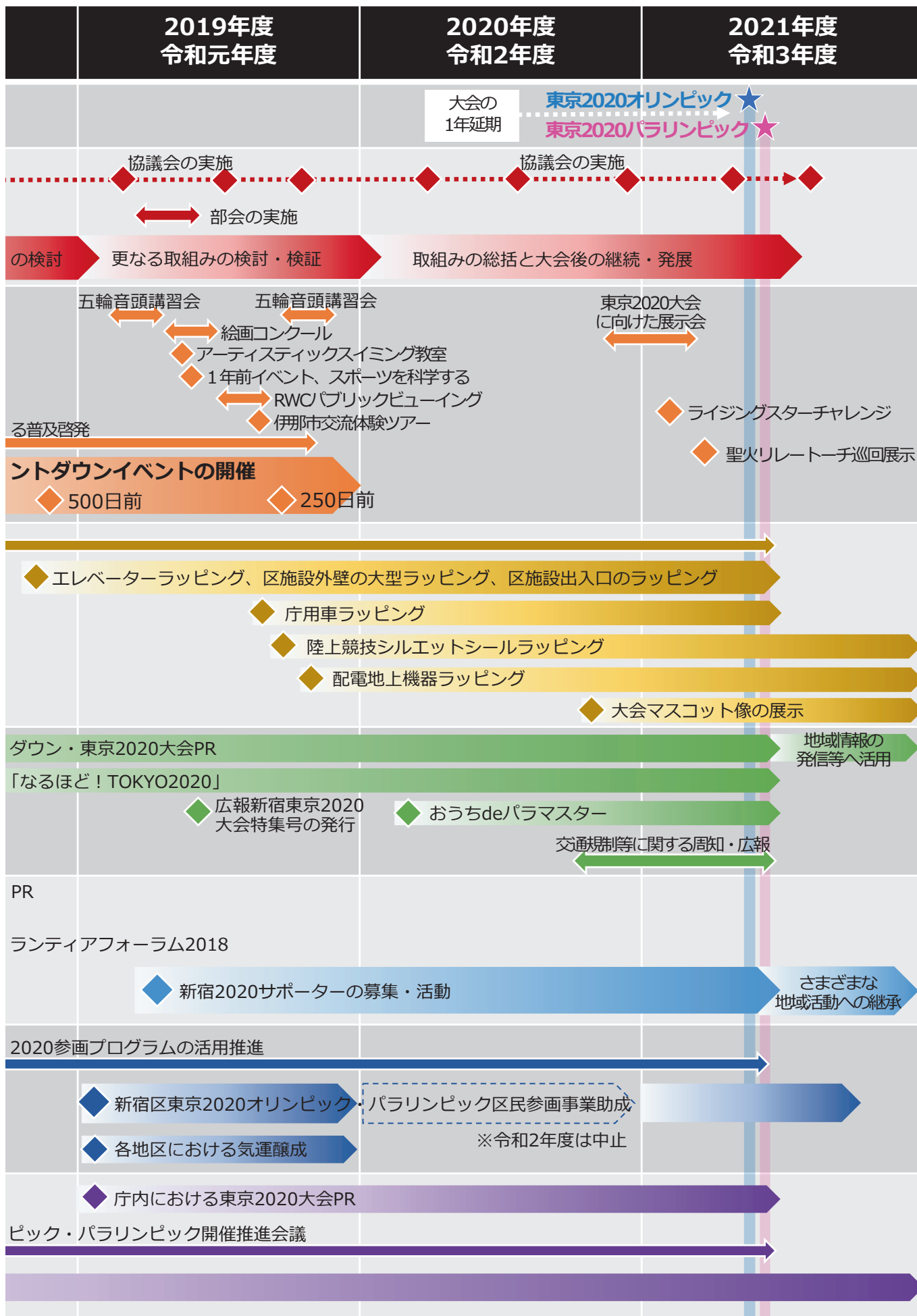
第2章

新宿区における 東京2020大会に向けた取組み

第2章 新宿区における東京2020大会に向けた取組み

◇ 新宿区における東京2020大会の開催に向けた取組み（年表）

～2016年度 ～平成28年度	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度
<p>H25.9開催都市決定</p> <p>大会招致を求める署名活動</p>		
<p>東京2020大会の動き</p> <p>1 新宿区東京2020大会区民協議会 P.15</p>	<p>設置 ◆ 協議会の実施 ◆</p> <p>■ 部会の実施</p> <p>情報交換・課題抽出</p>	<p>◆ 協議会の実施 ◆</p> <p>⇔ 部会の実施</p> <p>論点整理・具体的取組み</p>
<p>2 気運醸成イベントの開催 P.16</p>	<p>◆ フラッグツアー</p> <p>◆ パラスポーツフェスタ</p> <p>◆ 全校フラッグメモリアルツアー</p> <p>◆ 映画「東京オリンピック」上映会</p>	<p>五輪音頭講習会</p> <p>⇔ 聖火トーチ展</p> <p>地域イベントにおけ</p> <p>◆ オリ1000日前 東京2020大会カウ</p> <p>◆ パラ1000日前 ◆ 777日前</p>
<p>3 シティドレッシング P.40</p>	<p>大会エンブレムポスター等の掲出</p>	
<p>4 広報・PR P.49</p>	<p>◆ デジタルサイネージによるカウント</p>	<p>◆ 広報新宿連載</p>
<p>5 ボランティア P.53</p>		<p>大会ボランティア</p> <p>⇔</p> <p>◆ ボ</p>
<p>H28.8 三井選手を応援する会</p> <p>6 地域における取組み P.55</p>	<p>東京</p>	
<p>新宿区スポーツ栄誉賞の制定</p> <p>7 全庁における取組み P.61</p>	<p>H26.10～</p> <p>◆ 庁内各部における取組み</p>	<p>東京オリ</p>



◇ 2020年大会の開催都市決定まで

平成24年10月、2020年大会の招致にあたり、東京都町会連合会は東京招致を求める署名活動を行いました。新宿区町会連合会は、全200町会（当時）から約3万4千人もの署名を集めました。東京都全体では82万人を超える署名が集まり、大会招致への原動力となりました。



東京2020オリンピック・パラリンピック東京招致都民決起集会（平成24年12月27日開催）にて挨拶を行う大崎秀夫新宿区町会連合会常任相談役（元東京都町会連合会会長・元新宿区町会連合会会長）。

<参考>開催都市決定までの流れ

年月日	内容
平成24年5月23日	IOC理事会が立候補都市として、東京・イスタンブール・マドリードを選定
10月	東京都町会連合会による東京招致を求める都町連100万人署名活動開始
12月27日	東京2020オリンピック・パラリンピック東京招致都民決起集会開催
3月4日～3月7日	IOC評価委員会の東京都現地視察
8月23日	2020年東京オリンピック・パラリンピック招致出陣式開催
9月8日	IOC総会にて開催都市が東京に決定

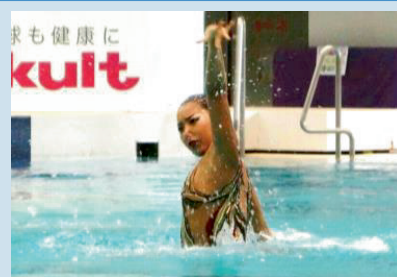
◇ 新宿区スポーツ栄誉賞

平成28年11月、スポーツ分野において顕著な功績を収め、区のスポーツ振興に寄与したアスリートを表彰する「新宿区スポーツ栄誉賞」を制定しました。国際大会等で活躍した、区にゆかりがあるアスリート4名に授与しています（令和3年12月現在）。

■ 三井 梨紗子 さん（平成28年11月19日受賞）

区立落合第一小学校卒業。小学校3年生の時からシンクロナイズドスイミング（現・アーティスティックスイミング）を始める。ロンドン2012オリンピックでは、チーム最年少の18歳で出場し5位入賞。

2度目のオリンピックとなるリオデジャネイロ2016オリンピックでは、デュエットとチームの2種目で銅メダルを獲得。



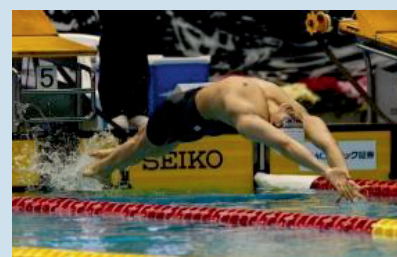
■ 古賀 淳也 さん（平成29年12月9日受賞）

早稲田大学卒業。新宿区在住。

2009年の世界水泳ローマ大会では、100m背泳ぎで優勝。

リオデジャネイロ2016オリンピックでは、4×100mフリーレーンに出場し8位入賞。

翌2017年の世界水泳ブダペスト大会では、50m背泳ぎで準優勝という好成績を収める。

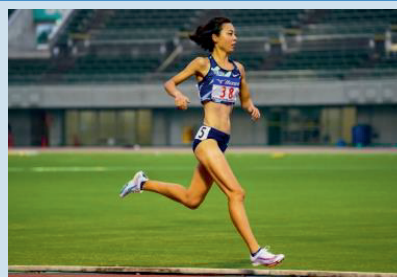


■ ト部 蘭 さん（令和3年12月10日受賞）

区立早稲田小学校、西戸山中学校卒業。幼少期から中距離走の道を志す。

2019年の日本選手権では、女子800m、1500mの2冠を達成。

東京2020オリンピックでは、陸上女子1500mに出場し、同種目で日本人初のオリンピックとなる。予選敗退となったが、日本歴代3位となる好記録をマークした。



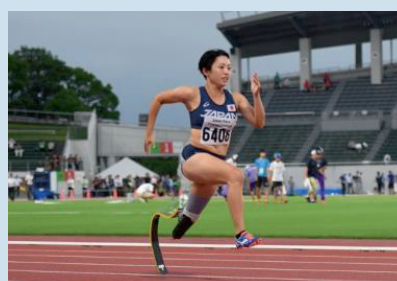
■ 高桑 早生 さん（令和3年12月21日受賞）

新宿区在住。3大会連続して夏季パラリンピックに出場。

ロンドン2012パラリンピックでは、T44クラスで100m、200mに出場し、それぞれ7位入賞。

リオデジャネイロ2016パラリンピックでは、T44クラスで3種目に出場し、走幅跳は5位、200mは7位、100mは8位とそれぞれ入賞。

東京2020パラリンピックでは、T64クラスで2種目に出場し、100mと走幅跳に出場。走幅跳では、8位入賞と好成績を収める。



1 新宿区東京2020大会区民協議会

区民や区内関係団体、区が東京2020大会に向けて一体となって取り組むため、平成29年5月に「新宿区東京2020大会区民協議会」を設置しました。

協議会では、関係者間における大会に関連する情報の共有及び連絡調整を行うとともに、協議会の下部組織として「東京2020大会普及啓発部会」及び「ボランティア部会」を設置し、大会の気運醸成に資する区民及び団体等の自主的な取組みの促進や区の事業推進の方向性等について、具体的な検討を行いました。

令和3年10月までに協議会を13回（うち2回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催）、部会を各7回開催しました。

協議会における検討結果の多くが、区の気運醸成事業に反映されています。特に、区主催の気運醸成イベントでは、協議会での意見や提案を踏まえて区民が主体となって参画できるプログラムづくりを進めたほか、各構成団体がイベント当日の出展や周知の協力を行うなど、区民、区内関係団体、区が力を結集させることにより、魅力のあるイベントづくりに繋がりました。

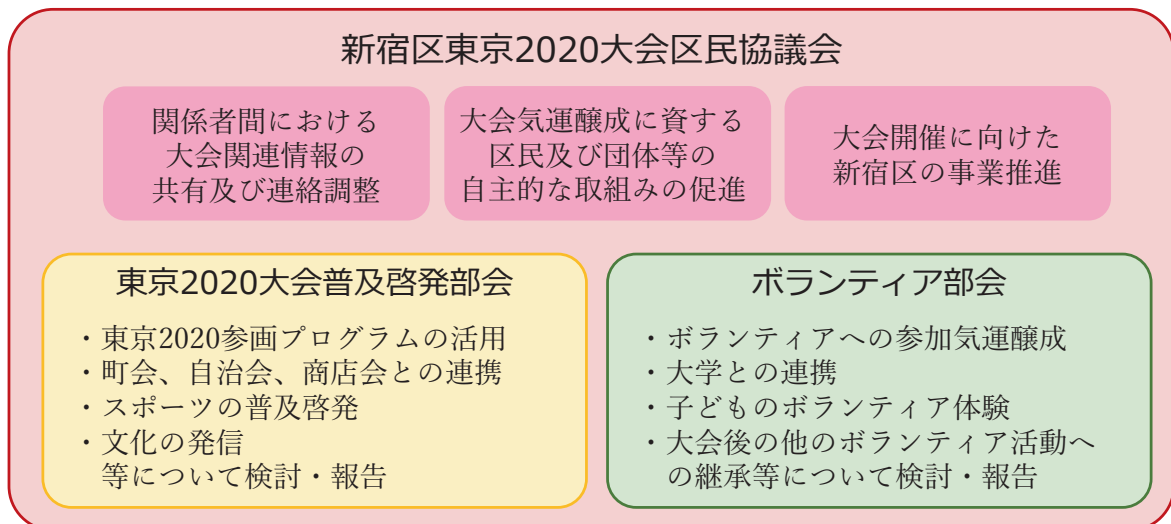


令和3年度第1回協議会の様子

【協議会の検討結果を反映して実施した事業】

- ・大会に向けた気運醸成イベント（P.16参照）
- ・地域センターまつり等の地域イベントにおける大会PR（P.55～60参照）
- ・大会ボランティアや都市ボランティアのPRイベント（P.53～54参照）
- ・新宿区スポーツ施設整備基金の創設 ほか

【体制及び所掌事項】



【構成員】 ※ 詳細は資料集P.94「新宿区東京2020大会区民協議会委員名簿」参照

- ・学識経験者 3名
- ・関係団体（町会、商工観光、スポーツ、福祉、教育等の分野）13名
- ・各種審議会等の委員（産業振興、文化芸術、多文化共生、スポーツの分野）4名
- ・区議会議員 2名
- ・新宿区 4名
- ・特別アドバイザー 1名〔計27名〕